

// 会社の概要 (平成28年11月30日現在)

商号 アルテック株式会社
設立年月日 昭和51年5月15日
資本金 5,527,829千円
従業員数 133名 (グループ全体426名)
所在地 東京都中央区入船二丁目1番1号
住友入船ビル2階

// 役員 (平成29年2月24日現在)

代表取締役社長 張 能 徳 博
取締役常務執行役員 阪 口 則 之
取締役常務執行役員 陶 山 秀 彦
取締役常務執行役員 池 谷 壽 繁
社外取締役 宮 本 康 廣
社外取締役 荒 井 敏 明
常勤監査役 藤 田 清 貴
社外監査役 石 川 剛
社外監査役 豊 島 絵

執行役員 井 上 博 行
執行役員 山 村 研 輔
執行役員 井 上 賢 志
執行役員 山 岸 利 光

// 株式の状況 (平成28年11月30日現在)

発行可能株式総数 40,000,000株
発行済株式の総数 19,354,596株
株主数 8,209名
大株主

| 株主名 | 持株数 | 持株比率 |
|-----------------------------|---------|------|
| | 株 | % |
| 竹内正明 | 915,000 | 5.34 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 505,920 | 2.95 |
| 関西チューブ株式会社 | 485,000 | 2.83 |
| 由利和久 | 450,276 | 2.63 |
| 共同印刷株式会社 | 432,900 | 2.52 |
| 株式会社アルミネ | 391,000 | 2.28 |
| 村永八千代 | 383,076 | 2.23 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口1) | 227,100 | 1.32 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) | 204,900 | 1.20 |
| 大和証券株式会社 | 196,600 | 1.15 |

(注) 1. 当社は、自己株式2,208,407株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
2. 持株比率は、自己株式2,208,407株を控除して計算しております。

// 株主メモ

事業年度
定時株主総会
期末配当金受領株主確定日
中間配当金受領株主確定日
株主名簿管理人
(特別口座の口座管理機関)
同連絡先
(郵便物送付先)

毎年12月1日から翌年11月30日まで
2月
11月30日
5月31日 (中間配当を実施する場合)
三菱UFJ信託銀行株式会社

〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)
電子公告により当社のホームページ
(<http://www.altech.co.jp/>) に掲載します。
ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告がでない場合は、日本経済新聞に掲載します。

公告の方法

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



この冊子は環境への配慮のため、FSC森林認証紙と植物油インキを使用しています。

第41期 報告書

平成27年12月1日～平成28年11月30日



ALTECH
アルテック株式会社

証券コード：9972

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第41期（平成27年12月1日から平成28年11月30日まで）のアルテックグループの営業の概況についてご報告申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に個人消費は底堅く推移したものの、円高傾向の定着等により企業の輸出や設備投資に鈍さが見られ、景気は依然として先行き不透明な状況で推移しました。また、海外においては、中国をはじめとする新興国経済の減速や英国のEU離脱問題等による世界経済の下振れ懸念等から先行き不透明感が高まりました。

このような市場環境の下、当社グループは、商社事業においては、引き続きコストコントロールを徹底しながら海外拠点との連携を強化し、事業規模の拡大に努めてまいりました。プリフォーム事業においては、主要市場である中国およびインドネシアの経済成長が減速する中、事業の再生に向けコスト構造改革および生産効率の改善等に取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は13,775百万円（前期比12.9%減）、営業利益は366百万円（前期比118.0%増）、経常利益は円高による為替差損が発生したこと等により181百万円（前期は104百万円の損失）、親会社株主に帰属する当期純利益は、プリフォーム事業における現在の事業環境や今後の見通し等を勘案し、事業構造改善費用、事業撤退損を特別損失として計上したこと等により64百万円（前期は998百万円の損失）となりました。

セグメント別では商社事業につきましては、主にRFID関連装置およびゴム加工機等の大型案件の販売、3Dプリンタ関連機器・消耗品の販売が減少し、採算性の見直しにより昇華型プリンタ関連機器消耗品の販売を縮小いたしました。

その結果、売上高は9,434百万円（前期比9.1%減）、セグメント利益は476百万円（前期比7.1%増）となりました。

プリフォーム事業につきましては、中国経済の減速やその影響を受けた新興国経済の鈍化等により市場環境が悪化する中、継続的なコスト削減、生産効率改善のほか、中国およびインドネシアの連結子会社については撤退を意思決定する等、業績の回復に努めてまいりました。

その結果、売上高は4,365百万円（前期比20.5%減）、セグメント利益は60百万円（前期は101百万円の損失）となりました。

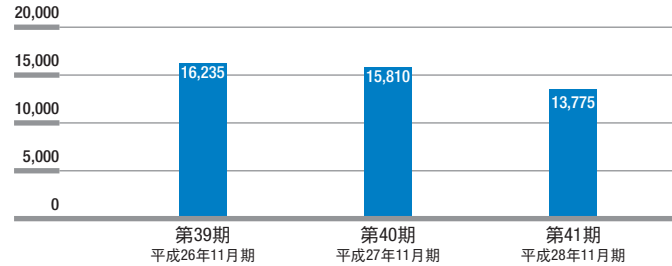
引き続き株主の皆様には一層のご支援を賜りますよう、何卒宜しく申し上げます。



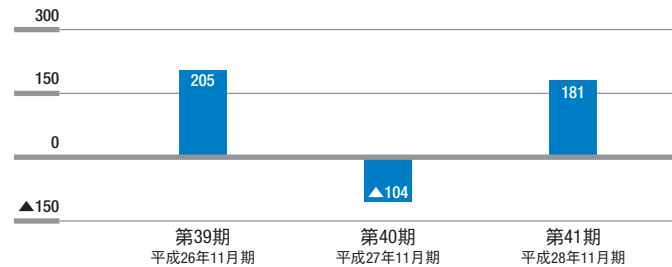
平成29年2月
代表取締役社長
張能 徳博

連結業績ハイライト

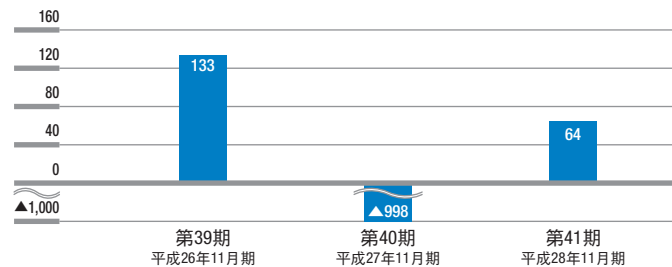
売上高（単位：百万円）



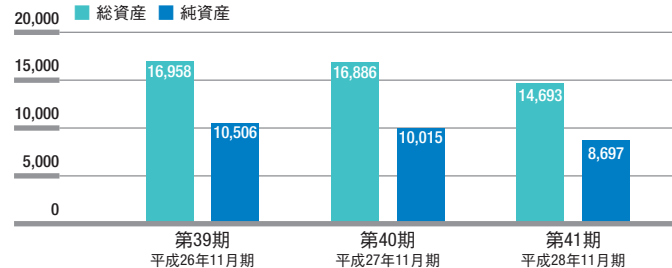
経常利益（単位：百万円）



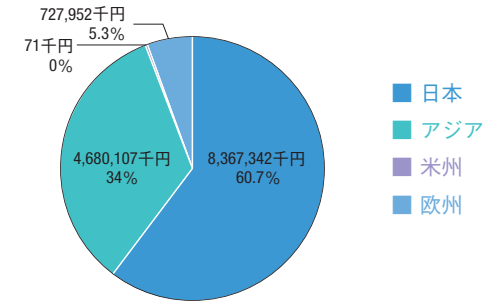
親会社株主に帰属する当期純利益（単位：百万円）



総資産／純資産（単位：百万円）



地域別売上高構成比



トピックス

最先端技術による商品のご紹介



自律走行型サービスロボットフレイト (Fetch Robotics, Inc.)

フレイトは最大100kgまでの荷物を積載できる自律走行型物流支援ロボットです。フレイトが荷物の搬送を担うことで、作業員はピッキング作業や組み立て作業に集中することができます。企業は搬送作業をロボットに担当させることで生産性の向上が図れます。施設内における荷物の積み下ろし場所や充電場所などの基本情報だけでなく、エリアごとの移動優先ルート、速度マップ、立ち入り禁止区域などのルールもフレイトに記憶させることができます。企業は、移動ルートに沿った導線をわざわざ設置する必要がないため、急なレイアウト変更などにも柔軟に対応することが可能です。



自律走行型車両セキュリティロボット「S」シリーズ (SMP Robotics Systems Corp.)

SMP社のセキュリティロボット「S」シリーズは、自律走行型車両ロボットです。全天候型でオンロード、オフロードに対応しており、障害物を自動回避しながら、あらかじめマッピングされたルートを巡回し、搭載されたビデオカメラで周辺情報を記録することも可能です。「S」シリーズは、工場、倉庫、変電所などの巡回警備だけでなく、鳥害対策、害虫駆除、ガス漏れ・放射性物質の検知など、さまざまな用途に対応したモデルが用意されています。「S」シリーズには、UGV※ (Unmanned Ground Vehicle) ガイダンスシステムが搭載されており、たとえ衛星通信が阻害されるような状況下であっても正確なルートを見失うことはありません。

※UGV (Unmanned Ground Vehicle) とは、人に危険が伴う地雷原啓開作業やNBC (核、生物、化学) 汚染地域の情報収集や除去作業などで活躍する、GPS機能を搭載した無人地上車両の総称。